



ID: 1292

科目名	測量及び実習【26年度生用】			コード			
英語表記	Survey and Practical Measuremet						
担当教員名	小園 正信			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	選択		
授業概要							
<p>測量は机上の原理・方法だけではなく、実際に測量機器を取扱い・観測する事により技術の向上につながります。測量方法や計測技術は、講義(テキスト及び講義に必要な内容の資料配布)し、授業の内40%程度は実習を行い基本的な測量機器の取扱い及び観測方法を学習します。</p>							
到達目標							
<p>建築物の設計や都市計画には、地形を正しく把握するため測量の成果は、なくてはならないものである。本「測量及び実習」の講座は、地形を測量するため、建築設計技術者として最低限理解していなければならない基本的な理論及び測定方法・考え方に関する知識・技術を習得するものであり、建築を学んでいる福祉環境デザインコースの皆さんが、本学を卒業し、実社会に出てから応用ができるようになることを目標としています。</p>							
授業計画							
第1回	測量学の必要性、誤差に関する一般論						
第2回	距離測量(直接・間接測定法、光波測距儀の測定原理)						
第3回	平板測量(平板測量の方法)						
第4回	平板測量(機器の取扱い、実習)						
第5回	平板測量(実習)						
第6回	水準測量(原理・観測手簿の記載方法)						
第7回	水準測量(計算及び誤差処理方法)						
第8回	水準測量(観測実習)						
第9回	水準測量(観測実習・まとめ)						
第10回	トラバース測量(原理・機器の構造)						
第11回	トラバース測量(観測・誤差処理の方法)						
第12回	トラバース測量(観測実習)						
第13回	トラバース測量(観測実習・まとめ)						
第14回	写真測量(概要と応用・実体視の原理と方法)						
第15回	GPS測量及びリモートセンシング(概要)						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
測量機器の取扱い及び測量方法を実習(土曜日・3時間)で行うので、出席を重視する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
					15%	25%	
授業外学習			テキスト、教材				
			細川吉晴ほか著「よくわかる測量実習(増補)」コロナ社2008.10				
参考書			受講生へのメッセージ				
大木正喜著「建設工学シリーズ(測量学)」森北出版1988							
キーワード							